

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート部材性能小委員会		主 査 名：楠原文雄 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：河野 進
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鉄筋コンクリート建築構造物に用いられてきた各種外力に抵抗する構造部材、非構造部材、ならびに基礎構造部材などの設計対象の性能の整理、部材のモデル化手法の精査を行い、部材の性能評価のあり方を検討する。</p> <p>初年度：前年度までの委員会の報告書の刊行し講習会を開催する。RC 部材の実用的な耐震設計のための現状技術を整理する。</p> <p>2 年度：部材性能評価法の課題および有効な新知見の整理し、設計対象の性能を整理し、部材の性能評価法のあり方をまとめる。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：楠原文雄 (名古屋工業大学) 幹事：岸田慎司 (芝浦工業大学), 日比野陽 (広島大学) 委員：石川裕次 (芝浦工業大学), 伊藤央 (久米設計), 小田稔 (三井住友建設), 河野進 (東京工業大学), 坂下雅信 (国土技術政策総合研究所), 高橋典之 (東北大学), 高森直樹 (フジタ), 田尻清太郎 (東京大学), 谷昌典 (京都大学), 中澤春生 (清水建設), 渡邊秀和 (建築研究所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>梁柱部材WG：梁および柱部材の一般化された性能評価手法をとりまとめる。</p> <p>壁部材WG：壁部材の部材評価や設計のルールをとりまとめる。</p> <p>柱梁接合部WG：柱梁接合部に関する現状技術を整理し設計法としてまとめる。</p>		
2019年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 鉄筋コンクリート部材の構造性能評価の現状と将来
講習会	1. 講習会「鉄筋コンクリート部材の構造性能評価の現状と将来」 参加者数：東京 177 名、大阪 72 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 前年度までの委員会活動成果を書籍として刊行し、講習会を実施した。 2. 部材の現状技術の整理、規準・指針類に反映可能な知見の洗い出しができた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 部材性能評価法の課題および有効な新知見の整理がやや遅れている。